

# I T活用日常生活の指導（朝の会）学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 知的障害養護学校 小学部

2. 対象生徒 低学年

3. 教科等 日常生活の指導・朝の会

4. 単元名 こんなとき どうしたらいいかな（交通安全）

5. 単元の指導計画（総時数5時間）

第一次 道路にでる時はゆっくり歩いたり、止まったりしよう・・・（2時間）

第二次 信号を見て渡ろう・・・・・・・・（3時間）・・・本時（3／3）

6. 本時の学習

(1) 題 目 信号を見て渡ろう

(2) ねらい

交通安全の映像に関心を持ち、自ら注目したり選んだりしようとする。

【関心・意欲・態度】

信号が赤の時は一旦止まって待ち、青になったら渡ることがわかる。 【知識・理解】

(3) I T教材を使う意図

日常生活の場面では危険やトラブルが多く潜んでいる。知的障害のある子ども達は、危険の認知や社会的なルールの認識が弱く、周りの状況も顧みず自分の思う行動を取ってしまうことがある。そのために危険な目に遭ったり、思いがけないトラブルに巻き込まれたりする場合もある。

特に校外活動時には危険が多いため、少しでも自ら認識することが望まれる。子ども達には画像や映像には注目しやすい特性があるため、情報を絞って教材を提示し、良い行動をイメージ化することで、適切な行動につながるのではないかと考えた。

また、社会には様々なルールや決まり事があることを、日々の学校生活を通して本人なりに感じ取って欲しいと願っている。ソーシャルスキルについては個々に応じてその都度対応しながら、学級単位で取り組んでいくことも可能である。短時間であれば集中できることから、その他のテーマについても、毎日の朝の会において学校生活の流れと関連づけながら、視覚的な情報を作成し活用していくことは有効であると考えた。

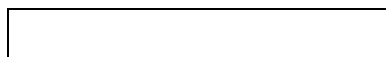
(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2002, Windows Media Player

(5) 展 開

欄	学習過程	児童の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分 導 入	1 あいさつ 2 朝の歌	○当番の児童は前に 出て挨拶をする ○当番はタンブリンを 持って回る ○聴いたり歌ったり し、タンブリンを叩く	・着席できた児童をほめる ・声かけに身振りを添える ・当番の児童がスムーズに動く ように支援する サ 明るい雰囲気ですかけし歌う ・挙手を促すよう手をあげる	
3分 5分 展 開	3 返事 4 カレンダー 調べ 5 今日の予定 ① 日程や場 所 ② 給食の メニュー 6 信号を見て 渡ろう	○挙手し返事をする ○日めくりカレンダー をめくる ○日付カードを選んで 黒板に貼る ○日程カードや場所 の写真を選んで黒 板にはる ○給食のメニューを選 んで黒板に貼る ○スクリーンに注目す る ○自分で良いと考え た方を選ぶ ○信号が赤の時は止 まって待つことがわ かる ○青になったら渡って も良いことを知る	・挙手しやすいよう見本を示す ・めくりやすいように1枚を持つ ・数字カードから日付と同じ数 字を選ぶよう声かけしたり同じ カードを近くで見せたりする ・日程カードや絵、写真等から 選ぶように、声かけしたり、同 じカードを見せたりする ・マークやメニューからイメージ できる身振りなどを添える サ 個々に応じて支援する ・タイトル ・校外学習のイメージ ・道路に出る時の画像 ① ・良いと思う方を選び、挙手やマ ウスの操作を声かけする ・良くない方はあまり強調しすぎ ないようにする サ 雰囲気が高まるように楽しそ うに声かけする ・信号が赤の時、立ち止ま って待つ画像 ② ・信号が青の時、横断歩道 を渡る画像 ③ ・意識付けしやすいようスクリー ンと同じ写真を黒板に貼る	【関心・意欲・ 態度】自ら注 目したり、選ん だりしようとする（観察）  【知識・理解】 信号が赤の時 一旦止まる画 面を選ぶ （観察）
5分 ま と め	7 あいさつ	○当番の児童は前に 出て挨拶をする	・3限の「せいかつ」を楽しみに するよう声かけする ・当番の声に身振りを添える	

※サはサブ

: IT教材活用場面

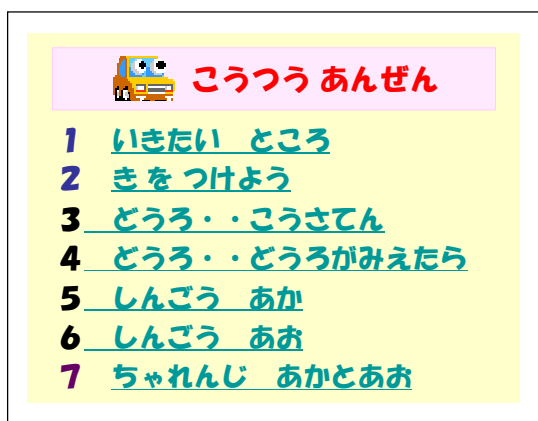


(6) IT教材の説明



①について (1)

タイトル



①について (2)

メニューを表示。

文字をクリックするとその画面に移る。

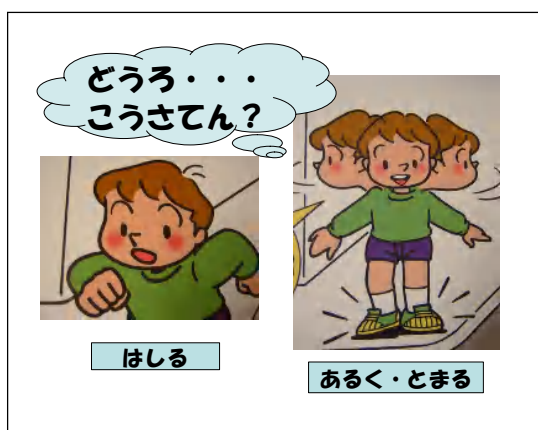
リターンでメニュー画面に戻る。



①について(3)

行きたいところを選ぶと関連の画像が映る。

楽しい思い出や行きたいところについて話す。



①について(4)

「はしる」「あるく・とまる」の絵などを、アニメーション効果を使って提示する。

道路に出る時は、どちらが良いかともに考える。

参考：ソーシャルスキルトレーニング絵カード

編・著 ことばと発達の学習室M



①について (5)

道路が見える画面。

車が多くて危ないことを確認する。

ゆっくり歩いたり止まったりする良いイメージを映す。



②について (1)

信号が赤の時の画像。

赤の時、 どうしたらよいか尋ねる。

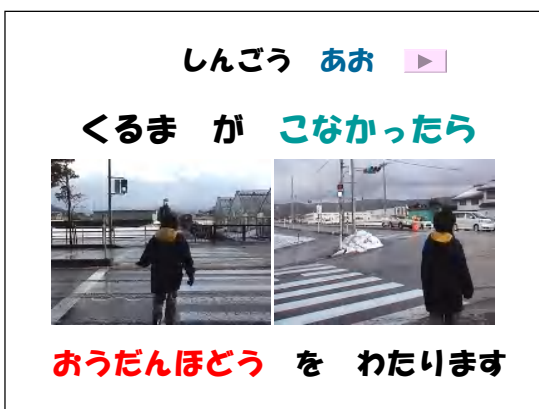


②について (2)

信号が赤の時止まる様子を映した画像。

画面をクリックするとビデオ映像を見ることができる。

再度見たい時は「もう1回」の表示を押す。



③について (1)

信号が青の時横断歩道を渡る画像。

画像を選ぶと映像が流れる。

どちらも正しく良いイメージを押さえる。

左右をみて車が来ないか確認している方が、より良いことを伝える。

<イラスト参考>

- ・情報処理推進機構 I P A 教育用画像素材集
- ・信州大学 会話エイドシステム ピコット
- ・インフォメーションセンター蘭